みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和4年8月23日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	· ①	体	名	株式会社 ダイトーコーポレーション
所		在		地	東京都 港区 芝浦 2-1-13
代	表者	役 職	・氏	名	代表取締役 社長 松川 一裕
+0	MZ	* *	4 ₽	#	電 話: 03-3452-6273
担	=	者 連	給	九	メール: m-tanaka@daitocorp.co.jp
ウ	ェブ	サイト	U R	L	https:://www.daitocorp.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

1934年9月の設立以来、東京湾内の港湾地域(東京港、横浜港、千葉港)を舞台に港湾運送事業を柱として他にも倉庫業、港湾タグ事業、海上防災業、通関業など 幅広い事業を展開しております。そのなかで、当社は "物流を通じて豊かで平和な生活と社会づくりに貢献したい"を企業目標として省資源・省エネルギーを推進し環境保全に努めると共に顧客や社会から信頼、求められるサービスを提供できるよう日々 取り組んでおります。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
√環境 □社会 √経済	荷役機器の低炭素化。トランステナーのハイ ブリッド化	荷役機器の更なる低炭素化の実現(水素エネルギー等使用) によりCO2 削減を図る。
□環境 ✓社会 ✓経済	業務の合理化、生産性向上による時間外労働 時間の短縮。	部門内での業務完結を見直し、外出し可能な 業務を把握、業務の均等化、効率化を図る。
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

Γ	カ			<u> </u>			主力	î SDG	s (1	7ゴー	- ル と	169	ターク	ゲッ	ト) [月連 耳	百日		
	カテ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3		5	6	7	8	9						15 16	17
	ゴリ	アエック項目		1 ESS ÁMPÁNÍ	2 ****	3 ************************************	4 stocess	5 SECT-188	6 ceases	7 state-times:	8 ####	9 882 983	10 APROSES	11 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	12 ::::12	13 ::::::	14 ******* 15	16 TRADERS	17
1	人権·労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	(37)ハラスメント対策(制度、窓口、体制等) ・差別等の相談先として人事部(長)、コンプライアンス違反 の範疇であるものは、コンプライアンス推進室(長)を窓口と している。 ・誹謗/中傷に対する懲戒規程を設け、必要に応じ懲戒委 員会にて審議する体制を整えている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	2
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	(37)ハラスメント対策(制度、窓口、体制等) ・ハラスメントを禁止する旨就業規則、ハラスメント防止規程に明記し、人事部長及びホットライン制度規程を定めてコンプライアンス推進室長を相談窓口としている。 ・従業員への教育及びアンケートや第三者との面談を設ける等してハラスメント対策を推進している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	(36)長時間労働防止 ・ノー残業デー実施。 ・フレックスタイム勤務制、スライド勤務制の導入。 ・時間外労働把握の為、担当役員及び所属長へ各部員の時間外労働時間を通知し注意喚起。								8.5 8.8								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	(45)新型コロナ等の感染症対策 ・コロナ罹患時等の連絡体制等を取り決めた対応表を作成し社内展開を図っている。 (46)ヒアリハット・労働災害対策 ・一定規模以上の事業所にて、定期的に安全衛生委員会の開催及び各現場にて労働災害防止、環境維持のためのパトロール等を実施。			3					8								
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	(38)メンタルケア対策全般 ・メンタルヘルス推進担当を置き、心健康づくり計画を定め メンタルケア推進に取り組んでいる。			3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	(31)女性、障害者、高齢者の雇用体制 (40)出産・育児・子育て環境の整備 (41)特別休暇(誕生月休暇) (48)働き方改革の多様化 ・再雇用者の勤務形態の細分化(短時間勤務等)。 ・ライフプランセミナーの定期的な実施。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	(2)従業員への教育 (28)従業員等の能力向上体制 ・階層別研修の定期的な実施。 ・資格取得費用の会社補助。 ・希望者に対するオンライン英会話講習の実施。				4	5.5			8	9							

Ī	カ					主なSI	Gs (17⊐"-	-ルと1	69ター	ゲット)	関連項目		
	テ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1 2	3	4 ;	6 7	8	9 10	11 12	13 14	15	16 17
	ゴリ) <u> </u>	併せて記載してください。)	1 500 1 100 1 100	3 metale	4 Miles	6 central lateral	8 2222	10 APRIOSOF	11 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	13 ####### 14 ##########################	15 \$55000	17 mines
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	(48)働き方の多様化 ・同一労働同一賃金への対応。(非正規社員、継続雇用 社員)			5	5	8.5	10.2 10.3				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	(35)健康増進施策の実施 (45)新型□□ナ等の感染症対策 ·法定回数を超える年2回の定期健康診断の実施。 ·有所見者の再検査費用に対する会社補助。 ·PCR検査費用の会社補助。		3			8					
11		【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュー ス、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	(2)従業員への教育 ・ISO14001 EMSサイト (11)再資源化・リサイクル活動・再利用可能な部材等 ・ゴミの分別徹底 ・曳船 廃棄曳航索の50%再利用 ・リサイクルカートリッジの回収 ・貨物搬入時のパレットの持ち帰り運動 ・木製、プラパレットのリサイクル業者へ引渡し ・コーナーガード、ラップのリサイクル							11.6 12.4 12.5	14.1		
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	(6)荷役機器等の低炭素化·電動化 ・トランステナーのハイブリット化 (15)船舶への陸上電力供給体制の構築 ・曳船/防災船 陸電使用 (17)LED照明の促進 (20)自社エネルギー量の把握 ・EMS監視記録 (13)業務車両のハイブリッド、EV車両の導入				7.3				13		
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	(4) Tを活用したペーパーレス(書類の電子化、FAX→メールへの移行) (20)自社エネルギー量の把握 (21)自社エネルギー量の削減目標の設定 (23)節エネルギー(電気・燃料) ·ISO14001 EMSサイト監視測定記録 (22)省エネ化に資する活動 ·ISO14001 EMSサイト啓蒙活動 ·外壁遮熱塗装(物流倉庫 ASKUL・IDC・HDC) 【予定】 ·大黒C4 運用システムの自動化を検討し今後効率的なヤードオペレーションの提供を目指すまた、夜間作業用ヤード照明のLED 化、ソーラーカーポートによる太陽光発電を利用した構内作業用EV 車両の導入を検討				7.2 7.3			12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	(2)従業員への教育 ・千葉顧客貨物「レゾルシノール(レゾルシン)」の 貯蔵・保管・運搬取扱い事項の遵守		3.9		6.3			11.6 12.4			
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	(2)従業員への教育 ・ヒアリ発見時の対応				6.6					15	
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					6.4 6.6						

7						主な	SDGs	(17	ゴー	ルと	169タ	・ーケ	・ット)	関連:	項目			
<u> </u>	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	_	5	6	7				11 12			15	16	17
=	リエック境日 	併せて記載してください。)	护护者	2 ==== (((3 FETTALE -W	4 ROG-GRE	5 SOUNT-THE BELLS	6 SERRE	7 Shad-Bases	8 11212	11	11 4€≻		13 1855	14 405***	15 ****	TOTAL TOTAL	
17	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	(1)明確な組織体制 ・環境方針・環境マネジメントマニュアル・各種手順書 (2)従業員への教育 (16) S014001認証			3.9			6	7				12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページへ「環境への取組み」を公開											12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	(10)再エネ比率の高い電気の利活用 ・本社他13拠点 契約電力会社:東京電力エナジーパートナー(株) プラン:グリーンベーシックプラン(100%適用)・・・ 非化石証書付き電力、実質CO2排出フリー ・大黒C4 契約電力会社:(株)UPDATER プラン:RE100プラン・・・CO2排出係数ゼロ、再エネ100%							7.2					13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15		
21 品	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	(2)従業員への教育 ISO 9001認証取得(2018年11月 全社統合認証を新たに 取得) 社内 品質内部監査実施									9							
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	(2)従業員への教育 (16)ISO14001認証 (2005年1月) 社内 環境内部監査実施						6					12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12	13	14	15	16	17
名 25 南 北	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	(3) 各種活動を促進するための国や行政、他業種等への 要望や連携活動 ・地元町内会主催の交通安全活動、清掃活動に参加。地 元お祭りへ寄付。				4					9		11 12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	(3) 各種活動を促進するための国や行政、他業種等への要望や連携活動 ・公益財団法人 がん研究会へ毎年寄付。 ・富山高等専門学校技術振興会に入会し、同会の活動を支援。 ・日本海洋少年団連盟に賛助会員として入会し、同連盟の活動を支援。				4							11		14	15		17

カ						主な	SDGs	(17⊐	ў —.	ルと	169	ター	ゲッ					
カテ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14 1	5 16	17
ゴリ	アエック·項目	併せて記載してください。)			3 ************************************	4 ROBLESSE	5 sectores 6 to	7 885	AF-FANCE 171-30 C	8 *** **	♣	10 APROXES	11 :::::::: All	12 ::::::	13 PARTIES.	14 #55**** 15 #5	16 TRABERS	17 descriptor
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13			
28 織体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9							17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	(1)明確な組織体制 ・三田地区特殊暴力防止対策協議会に入会し、講習会等 に参加。															16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	(1)明確な組織体制 ・環境方針・環境マネジメントマニュアル・各種手順書 (16) S014001認証															16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している	環境法令遵守について (1)明確な組織体制 ・IS014001EMSサイト 登録簿・法規制一覧・順法性チェックリスト															16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	(1)明確な組織体制 ・震災時地域帰宅困難者受入れ及び備蓄品用意															16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1		16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	16	17

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 株式会社ダイトーコーポレーション

名 称: 東京都港区芝浦 2-1-13

代表者: 代表取締役社長松川一裕

登録年月日: 令和4年8月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
√環境 □社会 √経済	荷役機器の低炭素化。トランステナーの ハイブリット化。	荷役機器の更なる低炭素化の実現(水素エネルギー等使用)により CO2 削減を図る。	2023 年 8 月現在、大井 CT には 21 基のトランステナーを導入しており、その内 18 基がハイブリット式で、南本牧 CT には 8 基を導入し、全てハイブリット式となっている。今期は大井 CT に 4 基のニヤ・ゼロエミッション型ハイブリット式テナーの導入を予定し、エネルギーの削減を進めている。(※ニヤ・ゼロエミッション型は従来型ハイブリットよりも優れた燃費性能を持ち、また将来的に水素燃料電気パワーパックへの換装が容易なモデル)
□環境 ✓社会 ✓経済	業務の合理化、生産性向上による時間外労働時間の短縮。	部門内での業務完結を 見直し、外出し可能な業 務を把握、業務の均等 化、効率化を図る。	社内にデータ加工センターと業務サポートセンターの新たな部署を設け、他部門の外出業務を効率的に処理している。
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 東京都港区芝浦 2-1-13

名 称: 株式会社ダイトーコーポレーション

代表 者: 代表取締役 社長 浅野 敦男

登録年月日: 令和4年8月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
√環境 □社会 √経済	荷役機器の低炭素化。トランステナーの ハイブリット化。	荷役機器の更なる低炭 素化の実現(水素エネル ギー等使用)により CO2 削減を図る。	現在、大井 CT には 24 台のトランステナーを 導入し、その内 18 基がハイブリット式で、更に 昨年度は環境に配慮したニア・ゼロエミッション 型ハイブリット式トランステナー4 台を導入しま した。また南本牧 CT は 6 台のハイブリット式 トランステナーを導入し、エネルギーの削減に 努めています。(ニア・ゼロエミッション型は従 来型ハイブリットよりも優れた燃費性能を持 ち、また将来的に水素燃料電気パワーパック への換装が容易なモデル)
□環境 √社会 √経済	業務の合理化、生産性向上による時間外労働時間の短縮。	部門内での業務完結を 見直し、外出し可能な業 務を把握、業務の均等 化、効率化を図る。	社内にデータ加工センターと業務サポートセン ターの部署を設け、継続して他部門の外出 業務を効率的に処理しています。
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 東京都港区芝浦 2-1-13

名 称: 株式会社ダイトーコーポレーション

代表 者: 代表取締役 社長 浅野 敦男

登録年月日: 令和4年8月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
√環境 □社会 √経済	荷役機器の低炭素化。トランステナーの ハイブリット化。	荷役機器の更なる低炭素化の実現(水素エネルギー等使用)により CO2 削減を図る。	現在、大井CTには、18基のハイブリット式トランステナーと4台のニア・ゼロエミッション型ハイブリット式トランステナーを導入しており、南本牧CTには、6台のハイブリット式トランステナーを導入し、エネルギー削減に努めています。(ニア・ゼロエミッション型は従来型ハイブリットより優れた燃費性能で将来的に水素燃料電気パワーパックへの換装が容易なモデル)また、新たに曳船事業においては、EVタグの導入をR9年の竣工を計画しています。
□環境 √社会 √経済	業務の合理化、生産性向上による時間外労働時間の短縮。	部門内での業務完結を 見直し、外出し可能な業 務を把握、業務の均等 化、効率化を図る。	社内に業務サポートセンターとデジタル推進課を設け、継続して他部門の外出業務の効率 的な処理と業務の DX を進めています。
□環境 □社会 □経済			